

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2013-228270(P2013-228270A)

【公開日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-061

【出願番号】特願2012-100333(P2012-100333)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/35 (2014.01)

G 0 1 N 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/35 Z

G 0 1 N 11/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月14日(2015.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シラン系シール材からなる測定対象物に対して、1500nm～1600nmの波長範囲に含まれる第1の波長の光、または、1980nm～2080nmの波長範囲に含まれる第2の波長の光が含まれる測定光を照射することで、当該測定対象物からの透過光又は拡散反射光を受光し、当該測定対象物の吸光度スペクトルを取得するステップと、

前記吸光度スペクトルから前記第1の波長または前記第2の波長における特徴量を抽出するステップと、

前記特徴量を予め定めた閾値と比較することにより、前記シラン系シール材の硬化度を測定するステップと、

を含むシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項2】

前記測定対象物の吸光度スペクトルを得るステップにおいて、前記第1の波長の光及び前記第2の波長の光が含まれる測定光を照射して、吸光度スペクトルを取得し、

前記特徴量を抽出するステップにおいて、前記第1の波長及び前記第2の波長における特徴量を抽出する請求項1記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項3】

前記特徴量は、前記吸光度スペクトルに基づいて作成されたベースラインスペクトルに対する吸光度の差分である請求項1又は2記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項4】

前記特徴量は、前記吸光度スペクトルの波長による二次微分値である請求項1又は2記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項5】

前記測定対象物の拡散反射光を用いて前記測定対象物の吸光度スペクトルを得る請求項1～4のいずれか一項に記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項6】

前記測定対象物に対して測定光を照射する光源と前記測定対象物からの透過光を受光する検出ユニットとが前記測定対象物を挟んで対向するように配置され、

前記透過光を用いて前記測定対象物の吸光度スペクトルを得る請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項 7】

前記測定対象物は反射板上に載置され、前記測定対象物に対して測定光を照射する光源と前記測定対象物からの透過光を受光する検出ユニットとが前記測定対象物を挟んで前記反射板と反対側に配置され、

前記透過光を用いて前記測定対象物の吸光度スペクトルを得る請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。

【請求項 8】

前記検出ユニットは、ハイパースペクトル画像を取得するハイパースペクトルセンサであって、

前記ハイパースペクトル画像を構成する画素毎に硬化度を測定する請求項 6 又は 7 記載のシラン系シール材の硬化度測定方法。